

米国オレゴン州の入試改革について

研究開発部試験作成支援研究部門 中 畝 菜穂子

PASS は Proficiency-based Admission Standard System の略で、オレゴン州が数年来、導入を検討してきた大学入学者選抜システムである。日本語に訳すと「学習達成度評価に基づく入学者選抜システム」とでもなるうか。つまり、大学入学を希望する高校生が、大学で学ぶための準備が出来ているかを評価するための基準を設け、それによって選抜を行うシステムということになる。今回、平成 12 年度の文部省短期在外研究員としてオレゴン州を訪問し、PASS の動向について最新の情報を得ることができたのでここで報告したいと思う。

PASS に基づく評価方法には、高校教員によるものと州や連邦のテストによって行われるものの 2 タイプがある。高校教員による評価においては、信頼性や妥当性の保証が重要な課題となるため、教員をトレーニングするプログラムも開発されている。現在、トレーニングは、セミナー形式で行われているが、将来的にはオンラインでト

レーニング可能なシステムも構築されつつあるようだ。国語、数学、理科、社会の 4 分野では州や連邦のテストによる評価も用いられる。このうち、州レベルのテストとはオレゴン州の教育局が独自に開発したものであり、連邦レベルでのテストというのは SAT-II や ACT のことを指す。つまり、PASS による選抜というのは、従来の選抜方法に置き換わるものではなく、それらをオプションのひとつとして内包しているものといえよう。

PASS において学習達成度の評価対象となる内容領域は、1) 国語、2) 数学、3) 理科、4) 外国語、5) 芸術、6) 社会であり、それぞれの分野は、4 つから 7 つの基準を持っている。ただし、入学者選抜時に全ての基準を満たしていることが要求されているわけではない。いくつかの基準は、奨学金取得や補習教育の必要性などの判断材料として用いられる。オレゴン州の公立高校で学んだ生徒は、PASS の基準に合わせて、この 6 分野における技

能の達成度を証明することを求められる。

オレゴン州立大学機構(The Oregon University System) は、2005 年までにオレゴン州内の公立大学に入学を希望する生徒に対して、PASS による選抜を適用したいと考えている。まず、その第一段階として、国語と数学について、PASS による評価が 1998 年度以降に高校へ入学した生徒に対して取り入れられた。2001 年度の秋学期は、その生徒たちが初めて大学へ入学してくる時期にあたる。今後、PASS による評価は、理科(2002 年度)、芸術(2003 年度)、外国語(2004 年度)、社会(2005 年度)の順に取り入れられていく予定

である。

オレゴン州の PASS による大学入学者選抜という新たなチャレンジが成功するかどうかは、まだ分からない。現在のところ、PASS による評価というシステム自体が、当事者である高校生にとって、なじみのあるものではないという報告もある。またこのシステムは、州内の公立高校の生徒に対して適用されるもので、州外からの応募者との評価の公平性について、どのように保証するのか等といった問題点もある。今後も、彼らの改革の行く末に関しては、注意深く見守っていく必要があるだろう。